

## 2年B組 外国語科 単元設計・学習指導案

指導者 河野 圭美

1 時間(場所) 10:10~11:00 (2年B組教室)

### 2 個人研究テーマ

自律的学習者が育つ英語授業 ～リテラチャー・サークルの実践を通して～

### 3 研究テーマ設定の理由

グローバル化やAIの進展、東京オリンピック・パラリンピックを前に、これからの外国語教育はどうあるべきか考えさせられる。英語でコミュニケーションをする力の育成はもとより、生徒一人一人がさまざまな人と豊かな人間関係を築きながら、幸せな社会作りに貢献できる力を身に付けることが、持続可能な社会を主体的に生き抜いていくために大切であるとする。

英語の授業では、協働学習を通して、人と人とのつながりを大切にして、他人の異なる意見を尊重したり、協調したりする能力を育みたい。それは異文化尊重の基本的な一歩であり、人間形成においても大切である。さらに、対話的学習により、さまざまな見方や考え方に触れさせるとともに、英語を話したり聞いたりする時間を多く取ることで、コミュニケーション能力を高めたい。また、学ぶことの意味を自分の生活や生き方、これからの社会のあり方と結び付けて考え、主体的に社会や世界と関わっていこうとする態度を養いたいと考える。

そこで、一昨年度から3年生で、リテラチャー・サークルの実践を行っている。リテラチャー・サークルとは、ある程度のまとまった分量の英文を読み、その内容について小グループで話し合う学習者主導の活動である。本活動を通して、生徒はさまざまな見方や考え方を学んだり、教科書本文の内容を社会の出来事や自分の経験と結びつけて考えたりできるようになった。また、コミュニケーション能力や学びに向かう力を高め、人との関わり方も学ぶことができた。本年度は、2年生でも本活動を実践し、コミュニケーション能力の向上や生徒の「話し合い活動」の質的向上を図りたい。リテラチャー・サークルの実践を通して、「主体的・対話的で深い学び」に迫ることによって、学んだことを積極的に生かし、更にそれらを伸長させようとする自律的学習者が育成できるのではないかと考え、本研究テーマを設定した。

### 4 単元設計(単元名 Chapter 4 Reading 3 Mother Teresa)

#### (1) 単元目標

- 重要表現や連語など、その運用についての知識を身に付け、適切に話したり書いたりできる。(知識・技能)
- マザー・テレサの生き方や彼女の言葉について話し合う中で、質問や応答をし合ったり、自分の考えを即興で伝えたりすることができる。(思考・判断・表現)
- 自分の意見や考えを粘り強く述べたり、友達の意見に対して相づちをうったりコメントを述べたりしている。(主体的に学習に取り組む態度)

「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標(第2学年 Chapter 4)

話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと	聞くこと	読むこと
自分の大切にしているものに関するスピーチについて、簡単な英語を用いて感想を述べたり、質疑応答したりすることができる。	自分の大切にしているものについて、聞き手に特徴や魅力が伝わるようにスピーチをすることができる。	自分の大切にしているものについて、自分の気持ちや考えを述べる表現を用いて10文程度のまとまりのある英文で書くことができる。	世界遺産や日本文化についての紹介文を聞いて、その内容を理解することができる。	①世界遺産や日本のマンガ・アニメ・映画に関する対話や文章を読み、日本文化や異文化への理解を深めることができる。 ②360語程度の伝記の概要を把握しながら読み取り、その人の思いや業績、本当の飢えとは何かなど、自分の意見をもつことができる。

#### 【本質的な問い】

伝記を読み、その人物の生き方について考えを深め、自分の生き方について考えを持つにはどうしたらよいか。

#### 【永続的な理解】

本文の概要をとらえるような読み方をしたり、言葉の意味をじっくり考えたりすることで理

解を深めることができる。また、人物の行動や言葉について疑問に思ったことや感動したことなどを中心に仲間と共有することが大切である。

## (2) 総括的評価の方法

パフォーマンス課題	その他の評価方法
「マザー・テレサの伝記を読んで、疑問に思ったことや感動したことなどについて、グループで語り合いなさい」という課題が与えられました。グループで充実した話し合いができるよう、メンバー一人一人には何について話題を提供するか役割が決まっています。物語に対するグループ全員の理解が深まるよう、積極的に話し合いに参加しなさい。	<input type="checkbox"/> 課題追求状況の観察 <input type="checkbox"/> リテラチャー・サークルの各役割のワークシート <input type="checkbox"/> ロイロノートで提出した動画 <input type="checkbox"/> 単元全体に関する問いへの自分の考えを書いたワークシート <input type="checkbox"/> ペーパーテスト

### 〔パフォーマンス課題の予備的ルーブリック〕

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	重要表現や連語など、その運用についての知識を身に付け、適切に話したり書いたりできる。	マザー・テレサの生き方や彼女の言葉について話し合う中で、質問や応答をし合ったり、自分の考えを即興で伝えたりすることができる。	自分の意見や考えを粘り強く述べたり、友達の意見に対して相づちをうったりコメントを述べたりしている。
B	重要表現や連語など、その運用についての知識を身に付け、文法的に少々間違いはあるが理解を妨げない程度に話したり書いたりできる。	マザー・テレサの生き方や彼女の言葉について話し合う中で、質問や応答をし合ったり、自分の考えを伝えたりすることができる。	自分の意見や考えを述べることができる。また、友達の意見に対して相づちを打ちながら聞くことができる。
C	(支援)重要表現や連語などの読み方や用法について具体例を示しながら、どのように使用すれば良いか助言する。	(支援)話型を示したり、どのように表現したらよいか助言したりする。	(支援)話型を示し、どのように自分の意見や考えを伝えたり、相づちをうったらよいか助言する。
自立と共生の力	<input type="checkbox"/> 解決の過程や結果を振り返って修正・改善する力 <input type="checkbox"/> 自分の気持ちや考えを表現し、伝える力 <input type="checkbox"/> 多様な価値観を認める力		

※A：単元終了時までには到達させたい理想的な状態      B：単元終了時までには到達させたい合格ライン

C：Bに至らない生徒への具体的な支援の方法

## (3) 指導計画（全7時間）

次	時数	学習内容	知	考	態	評価規準
1	1	3Aを読んであらすじを理解する。		◇		◇強勢、イントネーション、区切りに留意して音読できる。(考) ◇マザー・テレサの言葉の意味について考え、自分の意見を表現することができる。(考)
2	1	3Bを読んであらすじを理解する。				
3	1	3Cを読んであらすじを理解する。				
4	1	3Dを読んであらすじを理解する。				
5	1	3A~3D リテラチャー・サークルに向けて準備を行う。		◇		◇マザー・テレサの行動や言葉、自分の考えなどについて分かりやすい英語で表現している。
6	1 本時	3A~3D リテラチャー・サークルを行う。		◆	◆	◆マザー・テレサの生き方について感じたことや考えたことを、グループで質問し合ったり応答し合ったりすることができる(態)
	1	ペーパーテストを行う。	◆			◆重要表現や連語などの用法を確認する。(知)

※◇・・・指導に生かすための評価

◆・・・指導後の生徒の状況を記録するための評価

## 5 本単元と研究テーマとの関わり

### (1) 生徒について

生徒は帯学習としてフリートーキングを行ったり、単元のまとめとしてその単元に関する「問い」について自己表現（書く）活動を行ったりしている。また、2月までに3回、生徒同士やALTとの対話形式でパフォーマンステストを行ってきた。話型にそって、少しずつ自分の気

持ちや考えを表現できるようになっている。しかし、即興で会話することには課題があり、スムーズに質疑応答ができるようになりたいと感じている生徒も多い。また、聞き取れない表現や分からない単語に出会った場合、どのように対応すればいいか分からない生徒もいた。分からないことを恥じるのではなく、相手に聞き返して理解できるようにする指導を行っている。

今までに身に付けてきた力を発揮させながら、本授業までに3回リテラチャー・サークルを行った。難しい活動であるが、準備の段階から生徒は友達と協力しながら意欲的に課題に取り組んでいた。生徒の振り返りシートによると、表情や話し方、聞き方においてコミュニケーション技術の大切さを確認し、回数をこなすごとに自然にできるようになった生徒が増えてきている。

また、会話の録画を見たところ、「問い」について自分の意見は言えるものの、友達が話した内容について自分の意見を述べ、そこから話を膨らませることが今後身に付けていくべき力であることが分かった。また、難しい内容を今までに学習した表現を用いて分かりやすく伝えることにも課題がある。日頃の言語活動で行っている英語での問答ゲームを充実させ、さまざまなテーマについて即興でやり取りができる力を育成したり、相手に伝わる英語を意識した指導を行ったりしていきたい。

## (2) 単元について

本単元はマザー・テレサの伝記である。英語の授業では初めての伝記であり、ボリュームのある英語に接することとなる。内容も深く、生き方や世界平和などについて考えさせられるものである。本単元を通して、以下の3点の学びを保障したい。

一つ目は、概要をとらえ、個々の言葉の意味を深く考えるような読み方である。伝記は時間の流れに沿って語られており、年号などの時を表す言葉に注目し、物語の転換点となるような瞬間に注意させながら全体の流れをつかませたい。また、言葉の意味をじっくり考えるべき文章もある。その場合は、単語のひとつひとつを吟味しながら深く読み込ませたい。

二つ目は、これからの時代をよりよく生きる力の育ちである。マザー・テレサは「人間性の尊重」という最も基本的な道で平和を進めてきた。彼女の生き方や言葉は、愛に満ち、人の心を動かすものである。物が豊かに満ち溢れ、AIの飛躍的な進化をとげている時代にあって、心豊かに生き、平和な世の中を作っていくにはどうすればよいか考えるきっかけとさせたい。

三つ目は、思考力・判断力・表現力の育成である。リテラチャー・サークルを通して、読んだ内容について、伝える内容を考え、考えを練り、それを整理して、相手と分かりやすく伝え合う力を育みたい。相手が話した内容についてもしっかりと聞き、やり取りを通して、お互いの理解を深めることができるようにしたい。さらに、やり取りを通して、多様な考え方や新たな表現と出会わせることで、表現力の高まりへとつなげたい。

以上三つの学びを保障することで、教科領域テーマの具現化に資することができると思う。

## (3) 「深い学び」の実現に向けた指導の工夫について

教科書には感動する物語、世界的な諸問題、人の生き方についてなど琴線に触れる内容がたくさん用意されている。このような内容を自分の生き方と結び付けて考えられるようになると学ぶ意味を発見し、自分の世界を広げていくことができる。そこで、以下の3点の指導を踏まえたリテラチャー・サークル活動を行い、自分の気持ちや考えを相手に分かりやすく伝えることの価値に気付かせ、深い学びに迫りたい。

一つ目は論理的思考力・表現力を育成するために全校で取り組んでいる「問答ゲーム」（相手からの問いに自分の考えをはっきりと分かりやすく伝えるゲーム）など言語技術教育の手法を取り入れることである。6W1Hを意識してコミュニケーションをするなど日本語で培った手法を英語の指導にも生かしたい。

二つ目は話型を取り入れることである。論理的に思考し、それを表現させるために、まずはその型をしっかりと身に付けさせることが大切であると考え、一昨年度より話型を用いて話し合っている。話型を活用し、更に高いレベルのコミュニケーション力を育成したい。

三つ目はジグソー学習を取り入れることである。各グループから同じ役割の学習者が集まり4人のグループを作る。同じ役割の学習者同士で話し合い、分からなかったところを聞き合ったり、友達とアドバイスをし合ったりさせる中で、よりよい表現方法を学ばせたい。

6 本時の指導（6/7時間）

(1) 主 題 マザー・テレサの活動を通して、感じたことや考えたことを語り合おう

(2) ねらい

○伝記を読み、内容について分かったことを英語で表現し、疑問に思ったことや感動したことをグループで質問し合ったり応答し合ったりすることができる。

(3) 展 開

学習活動（形態）	時間	○教師の働きかけ ・予想される生徒の反応	○指導の工夫 ◆評価（方法）
<b>CAN-DO</b> We can talk about Mother Teresa's words.			
1 問答ゲーム （グループ）	5	○宝物について問答ゲームを行おう。	○トーキングスティックを用いて話させることで、全ての生徒が平等に会話に参加させる。
2 ミニレッスン （全体）	5	○前回のリテラチャー・サークルを振り返って、今回の取組に生かそう。	○前回の話合いの文字起こしをしたプリントや動画を見せ、課題や良かった点を述べることで、今回の取組への意欲を高めさせる。
3 話合いのための準備 （グループ）	10	○それぞれのグループから同じ役割（サマライザー・イラストレーター・クエスショナー・コネクター）の生徒が集まり、話合い活動のための準備を行おう。	○ジグソー学習を取り入れ、友達と準備させることで、自信を持って話合いができるようにさせる。 ○ロイロノートを使って友達のワークシートを見せたり、表現を訂正させたりすることで、理解を深めさせる。
4 話合い1 （グループ）	20	○自分のグループに戻り、役割ごとにメンバーに説明しよう。 ・ Could you explain this picture? ・ Mother Teresa's sisters are helping all poor people. True or False? ・ Why did Teresa go from door to door?	○英語だけで話合いができるよう、有用な英語表現をいくつか導入したり、表現集のプリントを参考にさせたりする。 ○話合いを録画し、次のミニレッスンに役立てる。 ◆自分の意見や考えを粘り強く述べたり、友達の意見に対して相づちをうったりコメントを述べたりしている。（ロイロノート・観察）
5 話合い2 （グループ）	5	○マザー・テレサの残した言葉の中で最も印象に残った言葉について話し合おう。	◆自分の気持ちや考えを述べ、即興でやり取りすることができる。（ロイロノート・ワークシート）
6 振り返り （グループ →個人）	5	○話合いを通して学んだことや達成できたこと、課題や改善点について話し合おう。	○振り返りを通して、次回の活動への意欲を持たせる。
授業研究 の視点	○リテラチャー・サークルは、生徒の主体的な学びにつながり、コミュニケーション能力を高め、人間関係をよりよいものにするものであったか。		

My treasure is my video game because my grandmother bought it for me last year.  
 (なぜなら、私の祖母が昨年買ってくれたから)

POINT

To enjoy talking with your group members. そのために…

- ① スピーカーがどんどん話したくなるようなリアクションをする
- ② スピーカーに質問したり感想を伝えたりする

SKIT

仲良し4人組あなたたちは、休み時間に「宝物」の話で盛り上がりました。

A : Hello, everyone.

B/C/D : Hi, A.

A : Let's start 英語で問答ゲーム in a group. Are you ready?

B/C/D : Yes, all right. (Sure.) (OK!)

A : Let's talk about our treasures.

My treasure is my cat because she is a member of my family.

B/C/D : (Pardon?/What?) Oh! Your cat?

A : Yeah. She always comes to me when I'm sad.

B : Oh, that's nice. (C: She is so kind.) (D: Really?)

A : Do you have any questions and comments?

B(or C or D) : Yes.

A : B (C, D), please.

B : What is her name? (C: How old is she?)

(D: Which do you like better, cats or dogs?)

A : She is Kiki.

B : What a cute name! (C: Pretty!!) (D: Nice name!)

A : Any other questions and comments?

C : No. (D: No questions.)

A : How about you, B? What is your treasure?

B : Well, my treasure is ...

A はあいさつをし、宝物と理由について最初に話す。

B, C, D は、自然なリアクションをする。2本のペンは自分の前に置いておく。

A は質問やコメントがないか聞く。B, C, D はある場合は、ペンを1本持つ。

A は質問やコメントが他にないか聞き、なければ他の人に話を振る。

<全員が言い終わったら>

D(←最後に話した人) : Well, let's change the topic. Let's talk about...

他のメンバー: OK.

## 役立つ表現集 ～どんどん英語で話そう～

Class (   ) No. (   ) Name (   )

		1	2	3	4	5	6	7
相づち	Yes. / Yeah. / Uh, huh. / OK.							
	All right. / I see. / Sure.							
	Really? / I got it. / That's right.							
驚きや喜び	Oh! / Wow! / Great!							
	How exciting! / That's interesting.							
間をつなぐ	Well... / Yeah...							
	Let me see. / Let's see. / Let me think.							
聞き返す	Sorry? / Pardon?							
	Could you say that again?							
	Could you repeat the ( first / middle / last ) part?							
	What does it mean? / What do you mean?							
依頼する	Could you speak more slowly?							
	Could you speak a little louder?							
確かめる① (聞き手が話し手に)	Did you say that...?							
確かめる② (話し手が聞き手に)	OK? / Do you understand?							
	Are you with me so far?							
話題を振る	How about you?							
	Anything else? (他に何かない?)							
	Please tell me more.							
	What do you think about ....?							
意見に賛成 意見に賛成しない	I think so, too. / I agree with you.							
	I don't think so. / I don't agree with you.							
自分の気持ちや考え を言う	I think (that)... ...と思う							
	I'm sure (that)... ...きっと(確かに)...です							
	I believe (that)... ...と信じている							
	I know (that)... ...を知っている							
	I hope (that)... ...だと望む							
	I'm afraid (that)... ...残念ですが...							
	I want to... ...したい							